

KOTO オンライン・マガジン ～1人1台端末の活用実践例①～



1人1台端末の配布につきましては、各学校において御協力いただき、ありがとうございます。校内の通信環境が整うまでの間、各校の実態に応じて学習活動における1人1台端末の活用を、よろしくお願いいたします。

今回の「KOTO オンライン・マガジン」では、第二辰巳小学校のChromebookを活用した学習活動の実践例について紹介しますので、ぜひ各校の実践に御活用ください。

実践例

理科の「考察」をスプレッドシートで共有



一度入力した内容を修正するのが簡単なので、紙に書くよりも、自分の考えをどんどん書いていくことができます。



みんなの考えを一覧で見ることができるので、言葉だけの話し合いよりも、話し合いがしやすくなりました。

STEP 1

「ものの燃え方」の実験における個人の考察をスプレッドシートに入力する。

STEP 2

スプレッドシートをグループで「共同編集」しながら、意見交換を行う。

Point

「アクセスポイント優先利用クラス」を計画的に設定！

一覧表を拡大して掲示

- 先生方がよく通る職員室内に、アクセスポイントを優先利用できるクラスを時間割表で示し、活用を促進！

アクセスポイントを常時配置する、「Chromebook ルーム」を設定する方法も◎



「情報モラル」の考え方

二辰小では、「こどもたちにまず取り組ませてみる」「こどもたちと一緒に考えていく」ということを大切にしながら、Chromebook 活用時のルール作りについても、進めています。

Classroomにおける「ストリーム」での約束や共同編集時の約束、こどもたちがChromebook を活用していく中で起こる様々な問題について、「学習に活用する」という目的を前提に考え、話し合う場を設定しています。